

- 問1 弥生時代の祭祀で使われた青銅器のうち、釣鐘のような独特の形状をした道具について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)

1. 土でつくられ、古墳の周囲に並べることによって死者の霊を慰める役割を果たした。

2. 仏教の伝来とともに寺院に設置され、人々に時刻を知らせるために打ち鳴らされた。

3. 表面に当時の狩猟や農耕の様子、生活風景を反映した文様が刻まれている。

4. 非常に鋭い刃を持ち、敵と戦うための武器や木材を加工する工具として使われた。
- 問2 弥生時代に作られた青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面に流水などの幾何学模様が施されている祭祀の道具を何というか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 銅鏡

2. 石包丁

3. 銅剣

4. 銅鐸
- 問3 『魏志』倭人伝などの中国の歴史書に記述が見られ、3世紀ごろに争乱が続いていた倭国を治めるため、邪馬台国の女王として共立された人物は誰か。 (2016年 北海道公立入試 類似)

1. 神功皇后

2. 推古天皇

3. 卑弥呼

4. 持統天皇
- 問4 日本列島で稲作が広まり、人々が竪穴住居に住んで定住生活を行っていた時代について説明した記述があります。その記述には、大陸から伝わった銅鐸や銅鏡などの青銅器が祭りの道具として用いられていたことや、当時の中国の歴史書において日本が「100余りの国」に分かれていたと記されていることが示されています。この時代の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 縄文時代

2. 弥生時代

3. 古墳時代

4. 奈良時代
- 問5 大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)

1. 竪穴住居

2. 高床倉庫

3. 前方後円墳

4. 環濠集落
- 問6 弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。

2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。

3. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。

4. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確認するため。
- 問7 弥生時代に製作された青銅器の一種で、兵庫県の五十六点や島根県の五十四点をはじめ、滋賀県や和歌山県といった近畿地方の府県で多くの出土が確認されている、豊作を祈るなどの祭礼に用いられた道具を何というか。 (2024年 京都府公立入試 類似)

1. 勾玉

2. 石包丁

3. 銅矛

4. 銅鐸
- 問8 邪馬台国の女王である卑弥呼が、当時の中国（魏）に使者を送り、金印や銅鏡を授かった政治的な背景として最も適切なものはどれか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 中国の強力な王朝との結びつきを示すことで、国内における自らの権威を高めるため

2. 日本列島を統一するために、魏の軍隊を日本へ招き入れようとしたため

3. 大陸の先進的な稲作技術を独占し、食料の生産力を飛躍的に向上させるため

4. 仏教を日本に導入するための経典や仏像を、魏の皇帝に要求するため
- 問9 弥生時代における金属器の使用について、青銅器と鉄器の使い分けに関する説明として最も適切なものはどれか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

1. 青銅器は大陸との交易における貨幣として用いられ、鉄器は建築用の釘として用いられた

2. 青銅器は主に祭祀の儀式用に用いられ、鉄器は農具や武器として実用的に用いられた

3. 青銅器は主に調理や貯蔵の容器として用いられ、鉄器は祭礼の装飾品として用いられた

4. 青銅器は一部の特権階級の家財として用いられ、鉄器は庶民の狩猟道具として広く普及した
- 問10 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために用いられた建築物の構造と、その目的について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

1. 建物の周りに深い堀を巡らせ、収穫物が雨水によって浸水したり流失したりするのを防ぐ排水機能を重視した。

2. 地面を円形や方形に掘り下げて床とし、防寒性を高めることで家族が共同で生活するための居住空間とした。

3. 床を地面よりも高い位置に作り、風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害を防いで稲を貯蔵した。

4. 建物の周囲に石垣を高く積み上げ、収穫した作物を敵対する他の集落による略奪から守るための防衛施設とした。
- 問11 弥生時代から古墳時代にかけて、収穫道具が「石包丁」から「鉄鎌」へと変化したことに伴い、収穫の方法はどのように変化したか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

1. 石の表面で穀を削る方法から、金属の刃で穂を細かく刻む方法へと変化した

2. 実った穂先だけを摘み取る方法から、株の根元から刈り取る方法へと変化した

3. 地中の根を掘り起こす方法から、穂を叩いて実を落とす方法へと変化した

4. 手作業で一粒ずつ拾う方法から、土器を使って一度に回収する方法へと変化した
- 問12 弥生時代の吉野ヶ里遺跡などに見られる、高い木材を組み上げ周囲に柵を張り巡らせた「物見やぐら」が作られた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

1. 天皇を中心とした中央集権体制が確立し、地方の豪族がその権力を誇示するために建設したため。

2. 稲作の普及により土地や水をめぐむ争いが増え、集落を守るための防衛機能が必要になったため。

3. 高床倉庫に保管した穀物がネズミの被害に遭わないよう、高い場所で常に監視を行うため。

4. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うため、天に近い高い場所で祈りを捧げる必要があったため。
- 問13 3世紀前半の倭（日本）について記した中国の歴史書である『魏志倭人伝』には、多くの小国を従えた強力な勢力の存在が記されています。この勢力の名称と、周辺の小国を連合させて治めていたとされる女王の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

1. 奴国 — 持統天皇

2. 奴国 — 卑弥呼

3. 邪馬台国 — 推古天皇

4. 邪馬台国 — 卑弥呼